

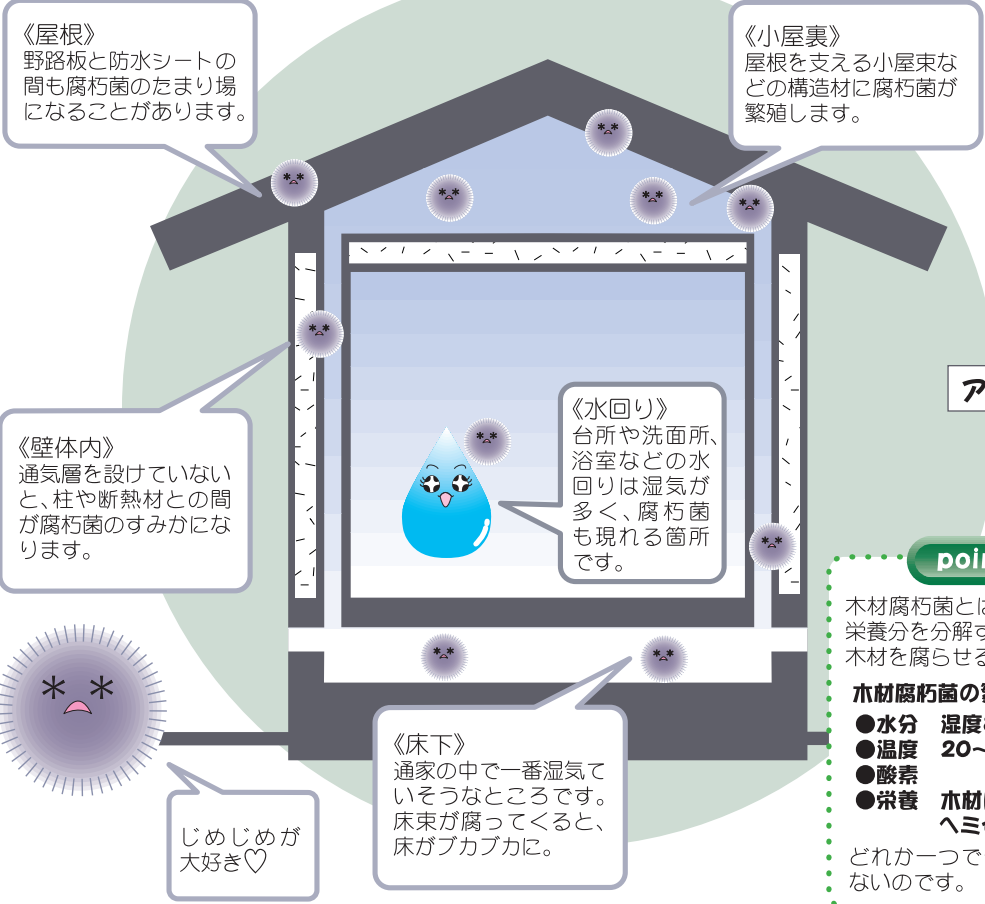
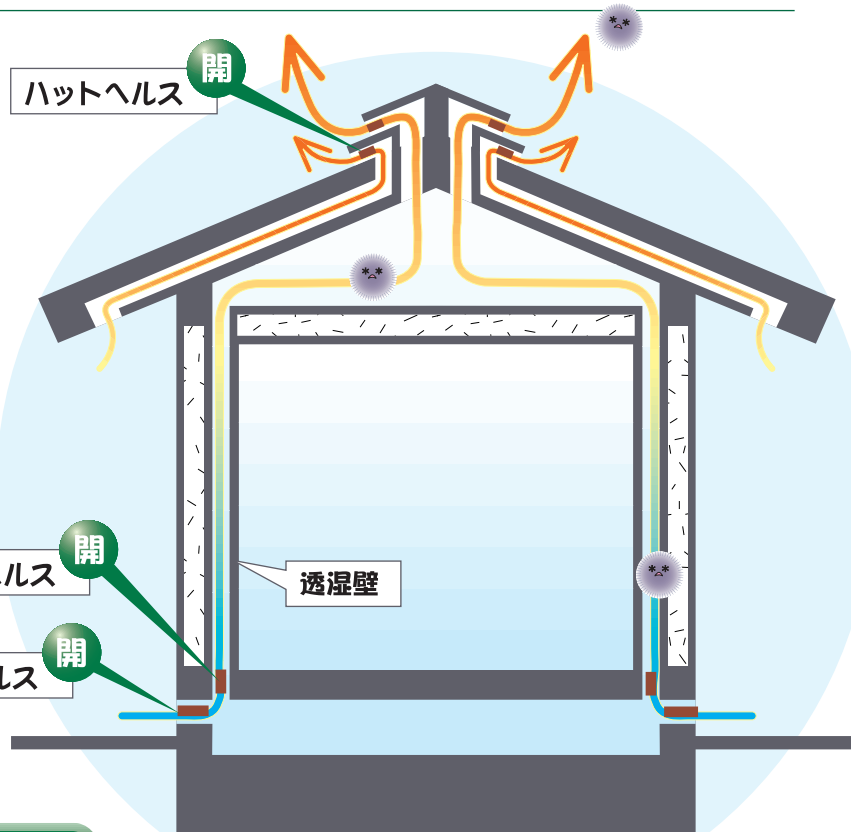
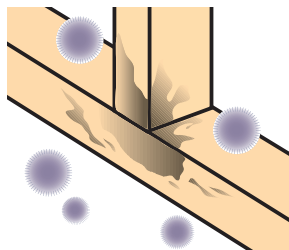
# 蒸れ腐れが起こりにくい。

結露が多ければ、菌も繁殖してきます。一番厄介なのが構造材を腐らせる腐朽菌。でも、そういうのに限って見えないところに繁殖するわけで…。

## 腐朽菌の繁殖は空気の淀み

日本は湿気が多いので、結露やカビ・ダニが繁殖しやすい環境です。それと一緒に繁殖しやすいのが菌。特に「腐朽菌」は曲者です。

蒸れて空気の淀んだ屋根裏や、壁の間で腐朽菌は、構造材を腐らせ、住宅の耐久性を著しく低下させるのです。



### point 木材腐朽菌

木材腐朽菌とは、菌類の中でも木材に含まれる栄養分を分解する能力のあるものをいい、木材を腐らせる原因になります。

**木材腐朽菌の繁殖条件**

- 水分 湿度85%以上、木材含水率20%以上
- 温度 20～30℃
- 酸素
- 栄養 木材に含まれるリグニン、セルロース、ヘミセルロース

どれか一つでも欠ければ木材腐朽菌は繁殖しないのです。

### 通気断熱WB工法の家なら、

通気断熱WB工法は、自然な通気が絶えず通気層を流れています。それによって室内の水分が引っ張られ、透湿壁を通り抜け、通気層の気流に乗って外へ排出されます。

このように、腐朽菌の繁殖条件となる水分(湿度)をコントロールすることで、木材の腐食を防ぐことができるのです。